

【見学を実施する鬼首地熱発電所】**発電所全景****鳴子こけしをあしらったタービン・発電機**

J パワー鬼首地熱発電所は、1975 年に 9,000kW の出力で発電を開始以来、50 年以上にわたり鬼首地域の地熱資源を活用して発電を行っています。旧鬼首地熱発電所は 2017 年に運転を停止し、既設設備の撤去を開始し、2019 年からリプレース工事を進め、2023 年 4 月に出力 14,900kW の新しい鬼首地熱発電所として、生まれ変わりました。

地熱発電は、再生可能エネルギーの特徴である CO₂ をほとんど排出しないことに加え、天候に左右されず年間を通じて安定した電気を供給することが可能です。また、地下にある膨大な熱エネルギーを持続可能な範囲で利用して、輸入に頼らず電気をつくることができます。世界第 3 位の地熱資源を誇る我が国では、貴重な純国産のエネルギーです。

設備のリプレースに際しては、発電所が地域の皆さまに一層親しんでいただけるよう、地域の伝統工芸品である「鳴子こけし」をタービン・発電機にデザインしました。